

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-1-4														
事業名：野地流線道路整備事業（市街地相互の接続道路）														
事業費：総額 401,512千円 国費 311,171千円 （内訳：用地費 34,807千円、補償費 2,720千円、測量設計費 197,993千円、 工事費 165,992千円）														
事業期間：平成 24 年度～平成 29 年度														
事業目的：津波により壊滅的な被害を受けた吉田東部地区から市街地・内陸部へ連絡する道路整備。本路線は、高台の避難所に指定されている吉田小学校に避難する際に狭隘な箇所があり、迅速に避難できない状況であるため、新たに避難路として整備する。また、JR 常磐線浜吉田駅周辺のまちづくり整備と併せて、JR 常磐線を挟んだ東西市街地の交流を活発化し、一体的な市街地の整備を促進するもの。														
事業地区：吉田地区														
事業結果：町道野地流線 L=1,140m W=6.0m 吉田東部地区から高台の避難所に指定されている吉田小学校に避難する際に狭隘な箇所の拡幅や、JR 常磐線第二踏切の拡幅など行い、地震による津波が発生した場合、指定避難所にスムーズな避難が可能になった。														
事業の実績に関する評価														
<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○当該事業で整備した避難道路は、災害発生時、指定している避難所への迅速な避難を可能にしたとともに、特に踏切拡幅、狭隘な箇所の道路拡幅など、内陸部への避難道路網整備について安全確保を行った。上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いるなど合理的な設計積算のもと事業を推進したため、事業費は妥当と判断する。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定した事業期間</th> <th>実際に事業に有した事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測量・設計</td> <td>平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月</td> <td>平成 24 年 8 月～平成 29 年 3 月</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月</td> <td>平成 27 年 7 月～平成 29 年 5 月</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>平成 25 年 7 月～平成 31 年 3 月</td> <td>平成 27 年 8 月～平成 30 年 3 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>○本事業は平成 24 年 8 月から事業に着手し、JR 踏切拡幅に伴う協定など行いながら平成 30 年 3 月に工事を終えており、当初想定した期間より早く完了した。</p> <p>⇒ 事業期間内で整備を終えており、事業手法としては妥当であったと判断する。</p>				想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間	測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 8 月～平成 29 年 3 月	用地	平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月	平成 27 年 7 月～平成 29 年 5 月	工事	平成 25 年 7 月～平成 31 年 3 月	平成 27 年 8 月～平成 30 年 3 月
	想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間												
測量・設計	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 8 月～平成 29 年 3 月												
用地	平成 25 年 4 月～平成 25 年 9 月	平成 27 年 7 月～平成 29 年 5 月												
工事	平成 25 年 7 月～平成 31 年 3 月	平成 27 年 8 月～平成 30 年 3 月												
事業担当部局														
巨理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507														